子育てしながらキャリアを育てる伴走支援プログラムの実証導入（伊藤忠商事株式会社）

- キャリアと育児の両立を支援する伴走型プログラムである「そだキャリ＋」が子育て世代社員にもたらす影響を検証することを目的として、計8回のセッションを実施した。その結果、将来に対する不安の軽減や働く理由の明確化、仕事への前向きな姿勢（エンゲージメント）の向上が確認できた。

実施目的

キャリアと育児の両立を支援する伴走型プログラム「そだキャリ＋」が
公私の好循環を生む意識変容と行動変容を生むかを検証すること。

実施内容・スケジュール

企業8社、40名へ「そだキャリ＋」を提供。
事前・事後アンケートにて効果を検証。

期間	令和7年11月～令和8年1月
人数	合計40名（うちアンケート有効回答数34名）
性別	男性14名・女性26名
年代※	20代1名、30代21名、40代10名、50代2名
子どもの年齢層	未就学児～小学校低学年
内容	プライベートセッション：7回 グループセッション：1回

※年代は、アンケート有効回答数34名の内訳

実施体制・実証フィールド

◆サービスプロバイダー兼実証フィールド

- 伊藤忠商事株式会社

◆実証フィールド

- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社三菱UFJ銀行
- パナソニック株式会社
- パラマウントベッド株式会社
- 株式会社Smile Project
- 株式会社ステムセル研究所
- 株式会社電通

効果検証結果

本実証により、ライフデザイン支援が将来に対する不安の軽減や働く理由の明確化、仕事への前向きな姿勢（エンゲージメント）の向上に寄与することが確認された。また、第三者による伴走型支援が、育児期社員の主体的なキャリア形成を後押しする有効な手法であることが示唆された。

ライフデザイン支援の普及・拡大に向けた示唆

ライフデザイン支援は、個人の内発的動機を起点に人生とキャリアを統合する人的資本施策として有効である。今後は企業横断で展開可能な標準モデルとして体系化し、官民連携により社会実装を進めることが重要である。

Copyright © ITOCHU Corporation. All Rights Reserved.